

## あ　と　が　き

2007（平成19）年11月27日、第15回岡山県国際理解教育研究大会は、岡山市立御南小学校を会場にして、昨年度に引き続き授業公開を伴った研究大会として、無事開催することができました。

公開授業は、御南小学校が特色ある研究として進めている、英語を使って音楽・体育の授業を行う「イメージ教育」ならびに「英語活動」でした。中学校との連携を探り中学校の英語担当教員とのT・Tの授業もあり、これからの小学校の英語教育について探る貴重な公開授業でした。

分科会は、2分科会とし、連携をキーワードに実践発表と協議が熱心に行われました。

午後からは、まず、「国際理解教育における今日的課題」について、全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会会長の生野康一氏から講話があり、国際理解教育を取り組む私たちが心すべきことについて、貴重な示唆をいただきました。次に、前在オランダ特命全権大使で帝京大学教授の小池寛治氏に「国際理解教育；海外勤務を通じた私の体験」と題して講演をお願いしました。外交官として7カ国に勤務された貴重な体験を通して、グローバル化のすすむ経済、低くなる国境の壁の現状の中で、国際理解・異文化理解を進めていく上で大切なことについて語っていただきました。

また、今年も、会場内に、派遣教員による各国の紹介・展示コーナーを設け、様々な国の珍しい物品が陳列され、参会者の興味・関心を高めました。

本年度は、教育事務所の再編により、本研究会の組織が改編され、岡山地区を東西2ブロックに分けてから初めての研究大会でしたが、会場校の岡山市立御南小学校の教職員の方々の多大な協力により、成功裡のうちに大会を終えることができました。本年度の成果をもとに、今後の岡山県の国際理解教育の発展を期待したいと思います。とともに、参加者をどう増やしていくか、授業を伴う大会が続けられるのか、学校現場が厳しさを増す中で一日かけた日程での大会が今後も可能かなど、研究大会を続けて行く上での具体的な課題もあります。一人一人の会員が知恵と汗をしっかりと出して、15回積み上げてきた研究大会をさらに充実したものにしてほしいと願っています。

最後に、本研究大会をご後援いただいた岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会、福武教育振興財団をはじめ、本大会のためにお力添えいただいた各委員、関係諸氏に心から感謝とお礼を申し上げます。

2008（平成20）年2月1日

編集部担当副会長　森　英　志

第15回	岡山県国際理解教育研究大会報告書
発　　行	2008（H20）年3月25日
発行責任者	岡山県国際理解教育研究会
	会長　　神田　　進
事　務　局	岡山市立中央小学校
	TEL　086-234-7750

※この研究大会は、福武教育振興財団の助成を受けています。